



## 赤れんが博物館企画展「令和3年度新収蔵品展」の開催について

### 【1】企画展

- 1 名称 舞鶴市立赤れんが博物館企画展「令和3年度新収蔵品展」
- 2 趣旨 令和3年度に新たに収蔵した資料を展示します。
- 3 日時 令和4年3月18日（金）～5月8日（日）会期中は無休  
午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 4 場所 舞鶴市立赤れんが博物館2階 特別展示室
- 5 入場料 常設展示と共通  
一般400円、学生150円  
市内在住または在学の学生は入館無料
- 6 主催 舞鶴市立赤れんが博物館
- 7 内容 展示点数 れんが24点、タイル1点、れんが型枠1点  
(年代順)
  - 1 三菱重工業株式会社長崎造船所出土こんにゃくれんが4点（長崎県長崎市）
  - 2 高林寺れんが門れんが1点（長崎県長崎市）
  - 3 京都国立博物館明治古都館（旧帝国京都博物館本館）  
東柱上部れんが1点、れんが4点（京都府京都市）
  - 4 北海道集治監十勝分館煉瓦工場製れんが1点（北海道帯広市）
  - 5 牛久シャトー（シャトーカミヤ旧醸造場施設）れんが3点（茨城県牛久市）
  - 6 寺田紡績工場塵突れんが1点（大阪府貝塚市）
  - 7 ホテルナゴヤキャッスルれんが塀れんが1点（愛知県名古屋市中区）
  - 8 高瀬煉瓦工場製れんが1点、伝高瀬煉瓦工場製敷れんが1点（岩手県花巻市）
  - 9 佐治タイル製和製マジョリカタイル1点（愛知県名古屋市中区）

### 【お問い合わせ先】

赤れんが博物館：☎ 0773-66-1095、FAX 0773-64-5123  
E-mail: [renga@city.maizuru.lg.jp](mailto:renga@city.maizuru.lg.jp)

- 10 米澤煉瓦株式会社製ガーデンブリック 2点 (北海道江別市)
- 11 えべつやきもの市れんが 1点 (北海道江別市)
- 12 メリークリスマス刻印れんが (企画：増田煉瓦株式会社(群馬県前橋市)、  
製造：グレンゲイリー社(アメリカ))
- 13 底板付れんが型枠 1点 (福岡県みやま市 (旧瀬高町))

企画展に合わせて借用・特別展示

- 14 恭仁宮跡出土磚 2点 (京都府木津川市)

## 【2】主な展示物紹介

### ◆奈良時代の SDGs 平城宮の磚を再利用か。

#### 恭仁宮跡出土磚

恭仁京：740(天平 12)～744(同 16)年



京都府木津川市



恭仁宮大極殿跡 画像 Saigen Jiro

恭仁京は天平年間に聖武天皇により造営された、木津川市に宮城を構える奈良時代の都である。天皇が主な居所とした恭仁宮跡は東西に約 560m、南北に約 750mの大きさで設計され、宮の中心で最も重要な公的施設である大極殿院の中心に大極殿が造られた。大極殿の基壇裾部からは瓦とともに配列された磚が出土した。磚とは中国の伝統的なれんがで、日本には仏教建築の材料として瓦とともに 6 世紀に伝来した。

聖武天皇が天平 12 年に平城京から恭仁京に遷都を行った際、平城宮大極殿が恭仁宮大極殿に移築されたものと考えられており、この磚も平城宮跡の磚とサイズ・作り方がほぼ一致することから再利用されたと考えられている。

### ◆長崎の赤れんが 初めは「こんにゃくれんが」

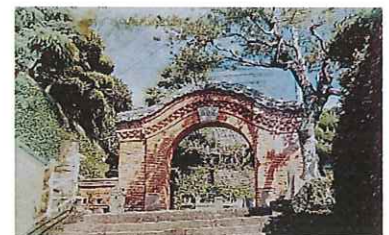
#### 高林寺れんが門れんが

1876(明治 9)年建立、2002(平成 14)年解体

上 224×109×47 mm 下 218×107×47 mm

4.1kg

長崎県長崎市



画像 高林寺

高林寺は 1646(正保 3)年に皓台寺を創建した一庭禅師が開いた末寺の一つであり、1912(明治 45)年知足庵のあった現在地に移転改築した。れんが門は、1876(明治 9)年知足庵の頃に建てられたもので、本下町の馬木建助が寄進したものとされ寺院の総門として使用されていたが、2002(平成 14)年に解体された。長崎地域には、この地特有の寺院・仏堂に築造されたアーチ式の石造またはれんが造の門が造られており、高林寺れんが門のれんがは、長崎周辺で幕末から明治初期に作られた厚さの薄いれんがで、その形状から「こんにゃくれんが」と呼ばれている。

### 【お問い合わせ先】

赤れんが博物館：☎ 0773-66-1095、FAX 0773-64-5123

E-mail: [renga@city.maizuru.lg.jp](mailto:renga@city.maizuru.lg.jp)



◆華麗なバロック様式と日本的感覚の調和・旧帝国京都博物館  
京都国立博物館明治古都館(旧帝国京都博物館本館)れんが

1895(明治 28)年竣工



京都府京都市

刻印



帝国京都博物館は、明治維新後の廃仏毀釈等により日本の伝統文化が失われていくことを防ぐため、1895(明治 28)年に本館や表門などが建てられ、2 年後に開館している。建物は、西洋の宮殿を思わせるれんが造りで、壁面には白い柱が並び、彫刻や繊細な装飾が配されている。設計を担当した宮内省内匠寮技師の片山東熊は、日本建築界の草分けの一人であり、国宝の赤坂迎賓館や奈良国立博物館旧本館などを手掛けている。帝国京都博物館は、京都帝国博物館、恩賜京都博物館、京都国立博物館と改称や所管替えを経て現在に至る。

◆明治の葡萄酒をはぐくんだれんが造の醸造施設  
牛久シャトー(シャトーカミヤ旧醸造場施設)れんが 3 点

1903(明治 36)年頃竣工

茨城県牛久市



2101

220×108×58 mm 2.0kg



2102

223×108×66 mm 2.3 kg



120×108×59 mm 1.1 kg



画像 Wiii

牛久シャトー(シャトーカミヤ旧醸造場施設)は、神谷伝兵衛が創設したワイン醸造施設で、現存する事務室、醗酵室、貯蔵庫は 1903(明治 36)年に竣工したとみられる。フランスに現存した醸造場をモデルに、ボルドー地方の技術を用いて、ブドウの栽培からワインの醸造・瓶詰めを一貫して行なっていた。2011(平成 23)年の東日本大震災で甚大な被害を受け、災害復旧工事が行われ、旧洗滌場の構造補強工事に伴う発掘調査によりれんが積層跡などが確認されており、企画展のれんがはこの発掘調査時に出土したものである。現在旧醗酵室、旧貯蔵庫は展示施設として公開されている。

【お問い合わせ先】

赤れんが博物館：☎ 0773-66-1095、FAX 0773-64-5123

E-mail: [renga@city.maizuru.lg.jp](mailto:renga@city.maizuru.lg.jp)

◆宮沢賢治のまち・花巻のれんが製造

伝 高瀬煉瓦工場製敷れんが

1930(昭和 5)年頃  
217×213×50 mm  
4.7kg  
岩手県花巻市



賢治がデザインした花壇  
画像 花巻市教育委員会

童話作家で有名な宮沢賢治の生誕地花巻市に、1897(明治 30)年高瀬新太郎により高瀬煉瓦工場が創設され、れんがのほか土管、瓦を製造しており、近くにもいくつかのれんが製造工場があった。宮沢賢治は、教師、詩人、童話作家、農学者、自然科学者など様々な分野で活躍したが、賢治にとって造園も芸術の表現の一つと考えられる。1930(昭和 5)年頃賢治の又従兄の橋本別邸に全体に幾何学模様を思わせる西洋風の花壇をデザインし、現在復元されている。花壇は 3 種類の模様が印刻された敷れんがを 200 個余り使用しており、この敷れんがは高瀬煉瓦工場製とされている。

◆大正に花開いた和製マジョリカタイル

佐治タイル製チューブライニングタイル

20 世紀前半  
152×152×10mm  
0.4kg  
愛知県名古屋市



タイル裏  
佐治タイル刻印

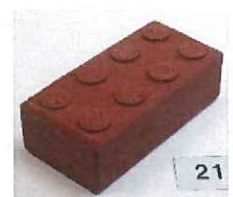
和製マジョリカタイルとは、大正時代初めから昭和 10 年代に日本で生産された多彩色のタイルで、明治維新後、欧米人の住宅で使用されたイギリスのヴィクトリアンタイルの美しさ・機能性に触れた日本人がこれを模倣し、国内で研究・技術開発が進み大量生産され、昭和初期には海外へ輸出されるまでになった。

佐治タイルは、尾張藩の陶器御蔵元であった佐治春蔵が陶器商・宇佐美屋を創業、不二見焼製タイルの販売を経て 1917(大正 6)年に佐治製陶所を設立、1925(同 14)年に佐治タイル(資)に改組した。

◆北の赤れんがのまちと現代に生きる赤れんが

米澤煉瓦株式会社製ガーデンブリック 2 点

200×100×60mm  
2.4kg  
北海道えべつ江別市



江別のつぼろ(野幌地区)でのれんが生産は 1891(明治 24)年に始まり、最盛期の昭和 30 年代には 15 社もの工場が操業、現在も 3 社の工場が操業し、建築材料以外に外壁材やガーデニング用など新しい需要に対応し全国シェアの約 20 パーセントを占めている。1939(昭和 14)年の創業の米澤煉瓦株式会社は、そのれんがが北海道庁旧本庁舎の塔屋修復に採用され、また、表面の凹凸を合わせるとずれにくくモルタルを使用せずに手軽に積むことができる「ガーデンブリック」など新たなれんが開発に取り組んでいる。

江別市はれんがの生産地であるのみならず、公共施設などがれんがで建造され、「えべつやきもの市」などのイベントが行われるなどれんがをテーマにしたまちづくりが長年進められている。

【お問い合わせ先】

赤れんが博物館：☎ 0773-66-1095、FAX 0773-64-5123

E-mail: [renga@city.maizuru.lg.jp](mailto:renga@city.maizuru.lg.jp)